

平成29年度 決算報告書について

平成30年度 第1回全国健康保険協会長崎支部評議会



目次

内容	ページ
1. 平成29年度 決算報告書	1-2
2. 平成29年度 全国健康保険協会決算報告書の概要	3

未確定（運営委員会付議前）

平成29年度
決算報告書

第10期

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

全国健康保険協会

決算報告書

(健康保険勘定)

(単位:百万円)

収 入				
科 目	予算額	決算額	差 額	備 考
保険料等交付金	9,724,891	9,724,891	-	
任意継続被保険者保険料	71,807	73,925	2,118	被保険者数が見込みを上回ったことによる増等
国庫補助金	1,248,848	1,245,319	△3,529	社会保障・番号制度システム整備費補助金が交付されなかったことによる減 注1①
国庫負担金	6,384	6,384	-	
貸付返済金収入	224	152	△72	高額医療費貸付件数の減
運用収入	0	2	2	預金利息の増
雑収入	14,553	15,209	655	
計	11,066,708	11,065,882	△826	
支 出				
科 目	予算額	決算額	差 額	備 考
保険給付費	5,838,634	5,811,663	△26,971	加入者1人当たり保険給付費が見込みを下回ったことによる減 注1②、注2
抛出金等	3,486,900	3,491,323	4,423	
前期高齢者納付金	1,552,503	1,549,463	△3,040	前々年度精算額の減少に伴う減
後期高齢者支援金	1,821,864	1,835,220	13,357	高齢者医療費の増に伴う増
老人保健抛出金	40	26	△15	
退職者給付抛出金	112,480	106,601	△5,880	拠出率の減
病床転換支援金	12	13	1	
介護納付金	991,411	985,819	△5,592	
業務経費	137,609	118,186	△19,423	
保険給付等業務経費	9,257	8,116	△1,140	雇用者数が想定よりも少なかったことによる、保険給付等補助員経費の減
レセプト業務経費	4,092	3,842	△249	
企画・サービス向上関係経費	3,468	2,392	△1,076	入札による調達単価の減
保健事業経費	120,791	103,834	△16,957	健診実施率が見込みを下回ったことによる減 注1③
福祉事業経費	1	1	0	
一般管理費	56,944	41,824	△15,120	
人件費	18,306	15,360	△2,946	欠員、超過勤務の縮減等による減 注3
福利厚生費	64	43	△21	
一般事務経費	38,574	26,421	△12,153	システム開発費の減
貸付金	224	161	△63	高額医療費貸付件数の減
雑支出	44,973	11,165	△33,808	平成28年度の保険給付費等補助金の確定に伴う減 注1④
累積収支への繰入	510,014	-	△510,014	
計	11,066,708	10,460,141	△606,567	
収支差	0	605,741	605,741	

(注1) 東日本大震災関係については以下のとおり。

- ① 国庫補助金には、平成29年度災害臨時特例補助金、平成29年度震災に係る特定健康診査・保健指導補助金を含めて計上している。
- ② 保険給付費には、一部負担金等免除に伴う費用(2,284百万円)を含めて計上している。
- ③ 保健事業経費には、健診及び保健指導の自己負担金の免除に係る費用を含めて計上している。
- ④ 雑支出には、平成28年度震災に係る特定健康診査・保健指導補助金返還金を含めて計上している。

(注2) 熊本地震について、保険給付費には一部負担金等免除に伴う費用(2,175百万円)を含めて計上している。

(注3) 常勤職員に係る人件費は、決算報告書では一般管理費の人件費として計上しているが、損益計算書では各業務に従事する者に係る人件費は各業務経費に計上している。

(注4) 収支差605,741百万円は、累積収支に繰り入れる。

(注5) 計数は、四捨五入のため一致しない場合がある。

未確定（運営委員会付議前）

平成29年度全国健康保険協会（健康保険）決算報告書の概要

- 健康保険勘定の収入は11兆659億円となっており、その主な内訳は、保険料等交付金が9兆7,249億円(87.9%)、任意継続被保険者保険料が739億円(0.7%)、国庫補助金・負担金が1兆2,517億円(11.3%)等となっています。
- 健康保険勘定の支出は10兆4,601億円となっており、その主な内訳は、保険給付費が5兆8,117億円(55.6%)、後期高齢者支援金等の拠出金等が3兆4,913億円(33.4%)、介護納付金が9,858億円(9.4%)、業務経費・一般管理費が1,600億円(1.5%)等となっています。
- 健康保険勘定の収支差6,057億円は累積収支に繰り入れます。

(単位:億円)

		29年度予算 (①)	29年度決算(②)		差額(②-①)	
			医療分	介護分		
収 入	保険料等交付金	97,249	97,249	88,532	8,717	-
	任意継続被保険者保険料	718	739	694	45	21
	国庫補助金等	12,552	12,517	11,343	1,174	△35
	その他	148	154	154	-	6
	(小計)			100,724	9,935	
計		110,667	110,659			△8
支 出	保険給付費	58,386	58,117	58,117	-	△270
	拠出金等	34,869	34,913	34,913	-	44
	介護納付金	9,914	9,858	-	9,858	△56
	業務経費・一般管理費	1,946	1,600	1,600	-	△345
	その他	452	113	113	-	△339
	累積収支への繰入	5,100	-	-	-	△5,100
計		110,667	104,601			△6,066
収支差		0	6,057			6,057

(注) 計数は、四捨五入のため一致しない場合がある。